



平成 26 年 8 月 11 日

各 位

会 社 名 岡藤ホールディングス株式会社
代 表 者 名 取締役社長 小 崎 隆 司
(J A S D A Q ・ コード 8 7 0 5)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 取 締 役 杉 本 卓 士
電 話 0 3 - 5 5 4 3 - 8 7 0 5

平成 27 年 3 月期第 1 四半期の連結業績見通しに関するお知らせ

平成 27 年 3 月期第 1 四半期累計期間（平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 6 月 30 日）の連結業績につきましては現在集計中ではありますが、決算の概要がまとまりましたので、業績見込みをお知らせいたしますとともに、前年同期実績と比較して差異が生じる見込みとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 27 年 3 月期第 1 四半期累計期間の連結業績見込みおよび業績との差異

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
前年同期実績 (平成 26 年 3 月期第 1 四半期累計期間) (A)	1,416	258	296	212
当期実績見込み (平成 27 年 3 月期第 1 四半期累計期間) (B)	1,250	118	139	110
増 減 額 (B - A)	△166	△140	△157	△102
増 減 率 (%)	△11.7	△54.1	△53.0	△48.1
(ご参考) 平成 26 年 3 月期実績	4,975	553	620	445

2. 差異が生じた理由

当第 1 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げ前の駆け込み需要からの反動が幅広く見られ、輸出もアジアや欧州向けがさえず横ばいとなりましたが、公共投資は高水準にあり、企業の設備投資も緩やかな増加傾向を維持する中で雇用情勢も改善し、個人消費が底堅く推移するなど、回復基調を持続しました。

商品市況は、石油は中東情勢の緊張を背景に上昇し、貴金属は米国株高を背景として金を中心に下落する場面があったものの期末にかけては上昇、穀物は米国の豊作見通しから大幅下落となり、全国市場売買高は9,549千枚（前年同期比59.4%）でありました。

このような状況のなか、当社グループの中核事業である商品取引関連事業における受取手数料は1,112百万円（前年同期比88.4%）となりました。また、売買損益につきましては、貴金属市場における売買損益が減少したこともあり、8百万円の利益（前年同期比45.1%）となりました。

この結果、営業収益は1,250百万円（前年同期比88.3%）となる見込みであります。また、営業費用につきましては、1,131百万円（前年同期比97.7%）となる見込みであります。これらにより、営業利益は118百万円（前年同期比45.9%）、経常利益は139百万円（前年同期比47.0%）、四半期純利益は110百万円（前年同期比51.9%）をそれぞれ計上する見込みであります。

以 上